

- ・巻頭コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(頂いたお米を寄贈、リユース自転車の修理のご依頼、宿泊研修報告、県職員 NPO 研修)
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

207号/2024.12 ▶ Since 1984

「地域で暮らす」

杉浦 良

10月31日の読者の手紙(徳島新聞)に「障害者取り巻く現状伝えて」と題した投稿を見つけました。

「・・・徳島障がい者芸術祭エナジーは創作活動を通して社会参加につながる価値あるものとして評価する・・・ただ共生社会の実現にもつながる活動と言われると・・・絵画教室を楽しむ施設利用者の暮らしはどうだろうか・・・地域生活を続けたい人も親亡き後は入所施設に入らなければならない・・・そこが問題だ・・・それを発信して欲しい・・・」

私が勝手に要約すると、こんな感じになります。

「入所施設から地域で暮らすことを、国も方向を示しているのではないか・・・現実はそのようなふうになってない・・・」

そんな気持ちがあふれている文章でした。

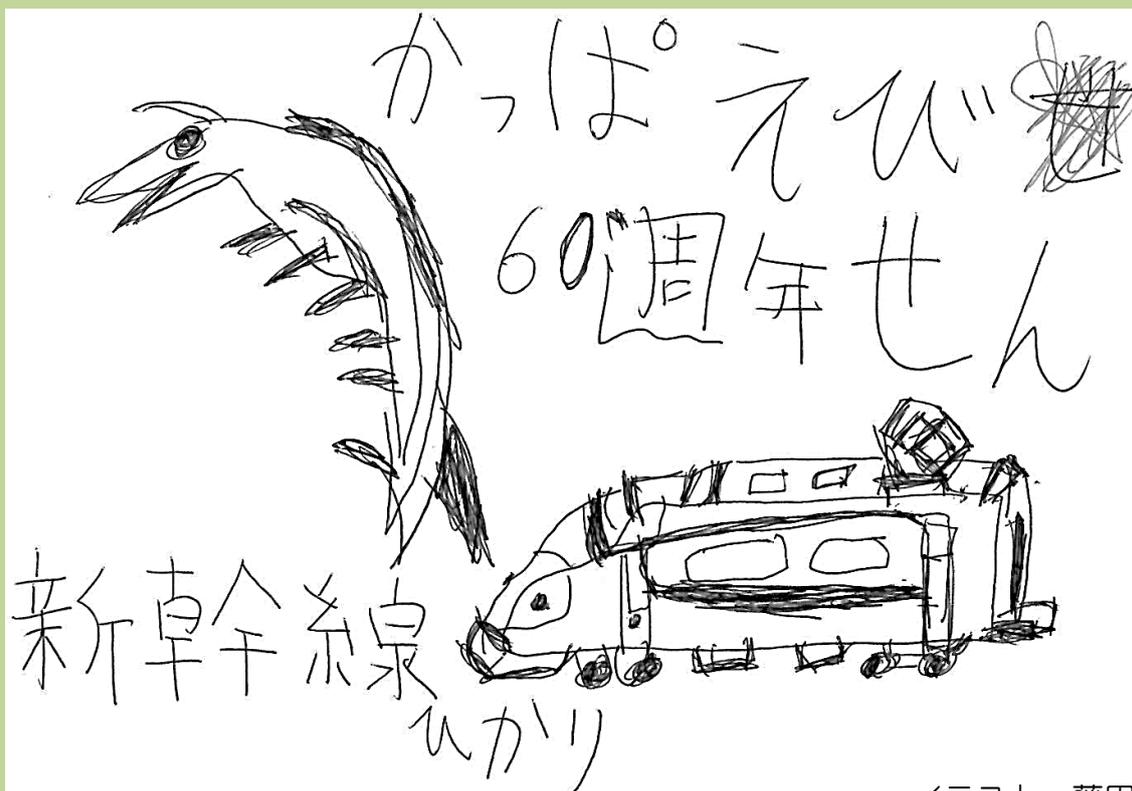


イラスト 藤田さん

平成9年（1997年）初めから、ここに通っているAさんが顔を見せなくなって、1年近くになります。26年の間にお父さんが亡くなり、お母さんも亡くなり、そしてお兄さんも亡くなりました。義理のお姉さんがお金の管理等をしてくださったお陰で、グループホームから通ってくることができました。ただ将来のことを考え、お兄さんの願いもかなえるために、入所施設の選択を思案しておられました。

「本人も納得して入所施設に行くと言っていますので・・・」

突然の方向が示されました。

「本当に納得していますか？以前見学に行ったと言っていました、まだ若いから来んでもいいように言われた、と本人から聞きました・・・来れるうちはここに来たいと言っていました・・・金銭管理が大変なら、グループホームでもやってくれると返事をもらっています・・・」

「金銭管理以外にもいろいろありますし・・・一人部屋でテレビもあり・・・行ってもいいと言いますから・・・もしどうしても入所施設がうまく行かなければ・・・その時はここにお世話になります・・・」

「・・・本当のところはどう？今まで良くしてくれたお義姉さんのことはこちらに置いて・・・自分の気持ちを話してよ・・・」

私はAさんに何度も聞きました。

「・・・Aさんが年を取って好きな自転車にも乗れなくなって、通うことが出来なくなったら仕方ないけど・・・通えるうちは今まで通りがいいのと違う？買ってきてもらっていた弁当も自分で買えるし、洗濯も出来るし、グループホームからも自分で通えるし・・・」

そんな会話を続けるうちに、困ったような何となく寂しさにあふれるようなAさんがありました。

「・・・もし自分で言えなければ、代わりに気持ちを伝えようか？」

「・・・はい・・・」

とりあえずAさんの気持ちをお義姉さんに伝えましたが、本人の言葉を再度確認する運びになりました。

「Aさん・・・ちゃんとお義姉さんに言えた？」

しばらくして聞いてみると、表情が硬く曇ります。

「言えなかったんやね・・・もうお義姉さんの言う通りでいいと・・・あきらめた？」

「・・・」

「BさんCさんが暮らす月の宮生活棟もあるけど、今までのように自転車で通うには遠いから・・・途中で買い物して帰るというわけにもいかんし・・・」

お兄さんが亡くなった時点で、入所施設に移るのが一般的な判断でしょう。お義姉さんのお陰でグループホームから通わせてもらえたことは、本当に有難いことだと思います。

こちらの力量不足をひしひしと感じながら、ただ、うつむき加減に表情を硬くし、かっと思開いた瞳がそこにありました。そして体から絞り出すような言葉が、私の心に重く横たわります。

「い・・・い・・・今まで・・・お・・・お世話になりました・・・」

お知らせ

頂いたお米を寄贈

10月10日、㈱エコリース森本哲夫会長とエコリースの社員の方々がトラックにお米を満載して来られました。今年取れた新米を知り合いから直接仕入れて下さったとのこと、お米の値段が上がっているだけに有難いことです。

早速、頂いたお米を下記の皆様のもとへお届けしました。

「フードバンクとくしま」に 30kg15袋 (450kg)
「(特非) クレール」に 30kg5袋 (150kg)
「(社福) 徳島児童ホーム」に 30kg10袋 (300kg)
「(社福) 白川学園」に 30kg15袋 (450kg)

米の値上がり等で大変な中、皆さん貴重な新米を頂き有難いと、感謝！感謝！の配達道中でした。それもこれも㈱エコリース森本会長のお陰です。有難う御座いました。

県職員 NPO 研修

9月30日、10月1日の2日間、徳島県のプログラムである「地域交流体験研修」で3名の徳島県職員の皆さまが当会に来られました。令和6年度新規採用職員の皆様に、地域を支える多様な団体の活動を体験して頂くというこの取り組みも、今年で14回目を迎えました。太陽と緑の会は当初から毎年受け入れさせて頂いており、今年で計80名の皆様が参加されたこととなります。

30日午前中は代表杉浦による、パワーポイントを使用した事業説明、昼食を挟んで、午後1時から午後5時までと、翌1日の午前10時から午後3時まで、様々なハンディを持ったメンバーと一緒にいろいろな作業を体験して頂きました。

ペーパーでは伝わりにくい現場の空気や事業の意義を少しでも感じていただけたら幸いです。

リユース自転車の修理のご依頼

「ここって、自転車の修理とかって、してくれるんえ?」

「当会でご購入下さったリユース自転車につきましては、良心価格にて修理させて頂いております。」

このようなお問い合わせが最近増えてきました。円安・資源価格上昇などの影響で、新品の自転車の価格が高くなったことも影響しているのかもしれない。

なお「当会以外で」ご購入の自転車につきましては、大変申し訳ございませんが、修理のご依頼はお受けしておりません。

自転車の修理技術者(自転車技士・自転車安全整備士の資格保有)が1名のみで、リクエストにお応えできるだけの余力がないためです。

自転車と言えば街の自転車屋さんで買うのが当たり前でした。

それが、時代とともにホームセンターやショッピングモールで購入される方が増え、今では、全国にチェーン展開する大手の某自転車ショップで購入される方も多くなってきました。

「中古の自転車なんぞ販売して、新品の自転車が売れんようになってしまったら、どないしてくれるん」といったお話も今昔の感があります

研修旅行報告

令和6年12月10日（月）11日（火）、公益財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ計20名が参加して、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を大阪府と兵庫県淡路島で行いました。

12月10日朝、藤西阿観光の21人乗りマイクロバスにて当会を出発し、淡路SAで休憩。昼食は、パート職員のKさんとメンバーのYさんによる手づくりのおにぎり。梯エコリース森本会長から頂いたお米を20合炊いて、理事のKさんから頂いた自家製の梅干しを入れて握りました。飲み物は、お客様から頂いた2リットルのお茶と市民の皆様から頂いた新品の紙コップを持参。

その日は大阪の箕面温泉で宿泊し、翌日、北淡震災記念公園 野島断層保存館を見学しました。

野島断層は今から約30年前に起きた阪神淡路大震災で出現しました。保存館では断層がありのままに残されており、断層による様々な地形の変化を詳しく観察したり、断層の断面を実際に見たり触れたり、地震の凄まじさと脅威をリアルに感じることができました。

また活断層の真横でもほとんど壊れなかった家が「地震に強い家」（メモリアルハウス）として公開されており、家の塀や花壇の煉瓦がずれた様子、当時の台所も再現されていました。

石川県能登半島で大規模な地震が発生して1年になろうとしています。今後30年以内に発生する確率が70～80%と言われている南海地震は徳島県にも甚大な被害を及ぼすことが想定されており、改めて地震について学ぶ良い機会になったと思います。

藤西阿観光の運転手の近藤さん、お世話になりました。



野島断層
保存館

Facebook より

太陽と緑の会では、リユース品の価格を安くしていることもあって、転売目的で足繁く通って来られるお客様が何人もおられます。徳島市の問屋町で開催されている「徳島びっくり日曜市」に出店されている方も、よく買い付けにいられています。

当会での販売価格の3倍とか5倍(品物によっては10倍)の価格をつけてメルカリなどに出品されている方もおられます。

「メルカリで買うより太陽と緑の会で買った方がずっと安いのに」と思うこともありますが、わざわざ当会まで足を運んで品物を探す労力(徳島県外の方であればガソリン代も…)を考えると、スキマ時間にスマホで検索してポチッとするだけで自宅に届く便利さは、タイパ重視の時代では重宝されるでしょう。

トラックドライバーさんがいらっしゃるからこそ、成り立っているシステムではありますが…

豚汁と貴重なお米

12月15日(日)の昼食はいつもの鶏肉カレーに代わって、美味しい豚汁です。昨夜、理事のKさんが豚汁を作って下さいました。毎年この時期に手作りの豚汁を作りに来て下さるKさん。メンバーもこの日を楽しみにしていました。

ご飯もいつも使っている石井町の農家Sさんのお米ではなく、静岡県のMさんが「月の宮産のスタチのお礼に」と送って下さったお米を使わせて頂きました。無農薬無肥料で丹精込めて作られた「亀の尾」という品種(コシヒカリとササニシキの原種)のお米です。

Kさん、Mさんに感謝して、皆で美味しく頂きました。

Mさんは、今から34年前、JYVA(日本青年奉仕協会)の「1年間フルタイムボランティアプログラム」に参加。国府町の今の場所での活動が始まってまだ3年目、職員にまだ社会保険すらなかった(職員数5人未満の適用対象外)草創期の時代、20歳という若さで単身飛び込み、太陽と緑の会の活動を支えて下さいました。その時のご縁が今でも続いていること、本当に嬉しく思います。

月の宮通信より

「柿がようけなっとるなあ・干し柿作らんといかん・」

Fさんがつぶやいています。

「もう少し赤くならんとあかんわ・」と私が返事をしているうちに、鹿にかじられた跡を見つけました。

「これは渋柿とわからん小鹿の仕業・少しかじって食べるのをやめとるな・」

「早う取らんと食べられるな・」

「渋いから大丈夫だけど、そろそろ収穫しよか?」

高枝バサミを使って収穫した大和柿を、Fさんが上手に皮むきして吊しました。

「干し柿食べとる!だれや!」とFさん。

「鹿の仕業だな・干して甘くなったので食べに来た・高い所のネットの内側に干さんと全部食べられるわ・」

こんなことは今までなかった出来事です。メンバーを乗せて帰宅中に、イノシシ、シカ、野ウサギに遭遇。徳島市郊外に環境の変化を見つけました。

来所見学

12月8日

「神山まるごと高専」で地域づくりの授業を担当しているS先生と2年生の生徒さん2名の皆様

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2024年9月1日～2024年10月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

匿名、田村、金原、米田、友成、西谷(郵便振替口座) 伊地知、笠井

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○蟻井、ウメハラ、片山、月岡、三浦、近藤、中村、藤木、岡、森本、高橋、梶原、原田、和田、佐藤、志摩、後藤、金澤、新居、よこやま、三木、堀川、栗飯原、堂久保、下条、厚美、福田、若宮、タカオ、大森、西、鮫島、栗坂、杉浦、松田、長船、井上、佐野、篠原、武市、ミウラ、吉岡、大島、河上、鎌田、小林、下内、吉田、富岡、梶本、太田、東條、橋本、濱田、川部、四宮、大久保、井川、阿地、永栄、宮本、加藤、美馬、只津、細川、峯、東口、藤岡、森井、カリヤマ、賀好、土居、住友、桑村、西浦、山田、村賀、斉藤、井口、樋口、安岡、久米川、福永○吉野川市○川端○板野町○谷本、松並○鳴門市○千里、忠津、野口○石井町○宮浦、川上、天羽、吉田○小松島市○谷口、竹本、阿部○阿波市○大西、河田、岡田○神山町○森本、武久、小坂田、河野○藍住町○福永、平岡、豊岡、奥村○上板町○森川、河野○北島町○小西、河野○美馬市○緒方○三好市○東口○松茂町○三好○阿南市○住友
○福島県○小野、兵庫県○三浦○福岡県○永峰○埼玉県○本田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○岡久、松崎、小川、山口、横山、富島、田中、酒巻、山崎、渡辺、恰、井内、田村、長尾、内田、中島、中西、大野、松永、関、原田、吉川、池田、七條、大櫛内科、蔵谷、井上、中井、住田、内藤、森、古田、豊茂、斉藤、明石、山内、早雲、宇治製薬、三木歯科、幸田、長畑、勝浦、長野、大西、元木、穴吹ハウジング、ピンク美容院、前田、山本、烏光、大櫛、板東、中田、祖川、鶉飼、井野、仲村、大北、谷田、後藤、横田、八木、部家、木元、福田、下山、佐々木、明石、和田、久米、富永、山ノ井、岡田、幸田、杉本、宮越、渡辺、勝野、デグチ、石川、西條、相原、近藤、若草幼稚園、稲見、元木、岡久、真鍋、オサフネ、工藤、三木、速見、石立、正城、増田、金原、内藤、中西、岩本、穴吹コミュニティ、多田、松本、佐藤、白鹿、新居、山本、山内、原田、宮前、宮本、宇治製薬、吉見、高橋、中川、忠津、日浦、樋川、北谷、宮本、竹岡、川寄、真鍋、出口、豊田、吉田、樋口、タケチ○鳴門市○大和、吉永、久龍、中谷、坂、石川、佐藤、三木、米田○石井町○吉田、阿部、佐藤、野口、友成、三木、後藤○藍住町○林、高橋、秦、阿部、西川、真田、村上○板野町○中村、渋谷、大西○小松島市○益田、大森、イハラ、植松、立石○北島町○北井、吉田、江口○上板町○岡本、渡部○吉野川市○加賀谷、竹沢、岡田、大村、中西○松茂町○箱井、クノ

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。旬のお野菜やお米を持って来て下さった皆様、お飲み物やお菓子を下さった皆様も有難うございました。お野菜やお米は作業所の食材として大切に使用させて頂いております。諸物価が高騰している中、本当に有難いです。また浄土真宗のお寺(尊光寺等)の皆様からの食料品・調味料等を、フードロス活動で竹條さんが持ち込んで下さいました。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」とご記入頂ければ幸いです。

年末年始休み・定休日

12月 Dec.

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月 Jan.

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

年末年始休み

12/25(水)~1/4(土)

※白抜き数字の日がお休みの日です

2月 Feb.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月 Mar.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

編集後記～お電話でのご予約

「以前電動自転車の予約をお願いした者ですが、明日買いに行きたいと思っておりますので」

そのようなお電話を頂いたので、確認してみると、電動自転車の予約の受付がされていません。

お客様のお話を伺ってみると、先日、電動自転車が売場にあるかどうかの確認のお電話をされたとのこと。そのお電話で予約の受付も完了したことになっていたようです。

電話担当メンバーのAさんの記憶は定かではなく、状況の見えにくいお話でしたが、お客様に確認してみると、まだ現物をご覧になっておられないとのことでした。

実は現物を見ずにお電話だけで予約、ということは原則としてお受けしないことにしています。やはり、リユース品は現物を見て頂かないと分からないことも多く、「思っていたのとちょっと違う」ということがよくあるからです。(メルカリやヤフオクなど、現物を見ない取引では、品物によっては、そういったことにまつわるトラブルもあるかもしれません)

電話で在庫があるのを確認したら、その場で押さえておきたい、せっかく買いに行ったのに「売れてしまいました」というのはちょっと…、というお気持ちもあるかとは思いますが…。

電動自転車のお客様は翌朝お越しになり、無事購入してお帰りになりました。

今から 30 年も前の話になりますが、トラックに乗ってメンバーさんと一緒に毎日朝から晩までお品物の引き取りにお伺いしていた頃のこと。ある回収先のお宅で、高齢の男性のお客様からこんなリクエストがありました。「兄ちゃん、お宅の店で中古の掃除機ってあるで?」

「はい、いろいろあります」

「すまんけど、今度うちに(引き取りに)来る時に、何でもええけん、掃除機を持って来てくれへんで。使えるもんやったら、何でもええけん」

「リユース品で、いろいろなものがございますので、一度現物を見て頂いた方がよろしいかと思いますが」

「ワシは車の運転もできんし、お宅の店までよう行かんのや。頼むけん、何でもええけん、持ってきてくれへん? あれこれ言わんけん、頼むわ…」

押し問答を繰り返し、ついに根負けした私は、次の回収でお伺いするときに、リユース品の掃除機を持って行くことにしました。

ところが掃除機をお持ちすると、その方は実際に電源を入れて使ってみてから、

「…兄ちゃん…、もうちょっと吸い込みが強いやつはないん?」

きちんと動作確認を行った上でお持ちしたのですが、お客様の望んでおられたものとは少々違っていたようです。

あのときは、己の詰めの甘さを反省し、よい社会勉強になりました。(文責:小山)

今年も残すところわずかとなりました。夏の暑さが例年より厳しく、しかも長期間続き、運営的にも大変な一年でした。

主食のコメをはじめとする食料品や日用品など生活必需品の値上げが続き、太陽と緑の会で安く買い物をして少しでも家計を楽に、と考えていらっしゃる方、一日限定の感謝セールでまとめ買いされる方もおられ、社会情勢の厳しさをヒシヒシと感じる一年でもありました。

そのような中、お米やお野菜、お菓子、食料品などを差し入れて下さった方、メルカリやヤフオクでも十分転売可能なお品物を「これで少し活動の足しにして下さい」とわざわざ持って来て下さった方、多くの皆様からの有難いお言葉、お気持ちを頂いて、今年も乗り切ることができました。本当に有難うございました。

なお本誌の発送をもちまして、新年のごあいさつに代えさせていただきます。

この活動も41年目に入りました。5年 10 年では分からないこと、見えないことも多く、長いスパンで考えることの意味を改めて思います。新年もよろしくお願ひ致します。

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054
代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田
宛名シール添付担当メンバー 堀
製本・発送作業担当メンバー 岡田
年会費: 正会員 1万円 (総会議決権)
準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名: 特定非営利活動法人太陽と緑の会